

令和6年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	36	学校名	仙台市立荒巻小学校	校長名	佐藤 淑子
------	----	-----	-----------	-----	-------

1 取組のタイトル, テーマ

わたしたちができること

～SDGsから考えること～

4年生「総合的な学習の時間」より



2 取組の紹介

(1) SDGsについて知ろう(杜々かんきょうレスキュー隊事業 環境学習プログラムより)

梅田川で活動している「仙台リバーズネット・梅田川」さんから、学校の近くにある梅田川に落ちているごみが本当にごみなのか、という問いのもと、授業をしていただきました。梅田川にごみがたくさん落ちていることに驚き、それは集めるとリサイクルできること、自分たちもごみをポイ捨てしないようにしよう、分別をしっかりと行おうという意識を持つことができました。



(2) 防災について学ぶ

地域の方が行う防災訓練に参加しました。社会科の授業で確認した学校の防災倉庫においてあるものがどのように利用されるのか、災害で食べるものはどんな味なのか、給水栓がどこにあるのかどのように水が出るのかを確かめ、もしものときは地域の方と一緒に協力しようという思いを持つことができました。



(3) 電気の通り道(東北電力ネットワーク 出前授業より)

東北電力ネットワークの出前授業から、電気の大切さについて知りました。スイッチを押せば電気がつくこと、その電気がどこからきていて、二酸化炭素を減らすためにどんなことをしているのか、自分たちも電気をこまめに消すなど無駄にしないようにしようという思いを持つことができました。



(4) 八木山動物公園 学習プログラムより

ホッキョクグマとアフリカゾウが生育環境の変化などで絶滅の危機にあるお話を聞きました。自分たちの生活が動物たちの環境にも結びついていることを再認識し、今まで学習したことと結び付けて自分たちができることを考えることができました。



3 取組の成果(児童の変容)

本校では4年生に SDGsについて考える授業を多く取り入れています。また、多くの出前授業や校外学習を行っています。難しい内容もありますが、広い目を持つことで自分たちの今の生活が生活環境や環境問題にも結びつくこと、これからどういう行動を取ることが自分たちの未来につながっていく、よりよい生活へと変わっていくのかということを意識付け、家庭や地域に貢献していこうという思いを持つ様子が見られます。小さなことからこつこつと、環境を守ろうとする心が醸成されていることが感じられます。